

全関西大学女子バスケットボール連盟  
2025年度 第4回 理事会 会議録

1. 日時：2025年11月17日（月）19：00～21：00
  2. 場所：zoomによるオンライン形式
  3. 出席理事数 理事総数25名中20名  
野老 稔、荒木初広、丸岡信吾、三島隆章、坂井和明、西川幸穂、古本ルミ、  
佐藤重紀子、畑岸邦枝、永田康一、柳生志乃、房本浩希、今西正泰、山中博史、  
村上なおみ、玉井里英、白井 徹、玉城耕二、市谷浩一郎、嶋崎尚美
  4. 出席監事数 総数 2 名中 2 名  
宮武庸介 山本 孝
  5. 出席学生委員  
大久保結子、上野なつな、深井愛子、藤浪真子、高野美佐子、小林愛梨、高田鈴、  
阪田琴音、内藤優依、稲垣遥、魚住帆香、野村雪乃、小山田璃々、戸佐間楓乃、  
野村雪乃、小田かほり、勝井真奈美、宮崎優愛
  6. 書記：勝井真奈美学生委員
- ・古本総務部長より、理事会の定足数について、理事25名中20名が出席しており、理事会は成立していることが報告され、野老会長を議長として議事が開始された。
  - ・最初に、第3回理事会議事録確認が行われ、第4回理事会の議事録署名人として、房本理事、玉城理事を指名した。

1. 審議事項

1. 2025年度全関西大学女子バスケットボールリーグ戦について（振り返り）  
大久保学生委員長より、資料を基に各部の反省・検討事項などについて報告があった。  
総務部から、表彰関係の備品の発注確認不足があり、数に不足があった。次年度からは年間を通して必要な分を早めに発注することが報告された。  
広報渉外部から、各会場の注意事項について、SNSやホームページ等で注意喚起を行ったことで例年よりも問い合わせが減ったことから、次年度以降も継続していくことが報告された。  
財務部から、チーム参加費について大阪芸術大学から期日内の支払いが困難であるとの申し出から特例措置を認めて、大会期間内で支払いが完了したことが報告された。  
競技部から、TO講習会の重要性、学生委員が1試合を通してコミッショナーを実施することが報告された。  
審判部から、帯同審判は学生の中から1名選出していただくことが改めて確認された。  
リーグ戦とその後の入れ替え戦の結果、次年度からのリーグ戦について、次年度から1部8チーム2部12チームで編成が決まった。

・大教大からの抗議文書への対応について

坂井専務理事より、資料を基に、経緯や詳細について説明があった。試合の結果としては、審判のサインが終わっており変更はあり得ない。審判がチームの学生に対して圧力がかかったと受け止められるような対応を取ったとの指摘があること、初期対応として、関係者全員からヒアリングをしなかったこと、の2点については、直接学連として謝罪を行ったことが報告された。

嶋崎審判部長より、今後の対応について、審判員の方々に今後のための注意喚起の文書を配信するとの報告があった。また、今後のTO、競技部としての対応について、講習会などを行うことの報告があった。坂井専務理事より、ホームページにて「大会運営の改善に向けて」という内容で今回の教訓について掲載予定であることの報告があった。

・桃山学院大学からの要望書への対応について

坂井専務理事から、資料を基に経緯や詳細について、入れ替え戦で生じた体育館の利用ルールとその運用について説明があった。

- (1) どちらにも不利益がないよう公営の体育館もしくは対象校外での実施と考え、会場選定を行ったが不可。
- (2) 上位校の神戸親和大に使用の可否の確認を取ったが主務より不可との返事。
- (3) 下位校の桃山学院大に可否の確認を取ったら可能。会場を桃山学院大に決定。
- (4) 決定後神戸親和大の監督から下位校にアドバンテージがあることに対するクレームが入り、当学で会場調整を行った結果使用可に変更。しかし、一度は不可との連絡が入った旨を伝え、主務との連携不足を指摘。連携の見直しの注意喚起を行った。
- (5) 桃山学院大には変更をLINEにて連絡したが、その連絡方法、学連としての対応(ホームページ等への無記載)に対する改善の要望書が提出された。

学連員が主務とLINEのみでやり取りをしたことへの今回の反省点、会場の決め方の明確化と再確認、変更の場合の周知方法、など、今後の改善案について報告された。改善案としては、早い段階で該当チームに、LINEだけでなく、電話または対面での説明など、丁寧に了承を得たうえで進めていくことが報告された。

## 2. 豊中市バスケットボールフェスタの取り組み報告

村上競技部長より、資料を基に説明があり、次年度以降も引き続き取り組む方針であることが報告された。

## 3. ワクワク交流マッチの実施報告

今西財務部長より、資料を基に説明があった。次年度以降もさらにチーム数を増やしながら取り組む方針であることが報告された。公共体育館でできたことなど、参加チームには大変好評であった。

#### 4. 2025年度秋季トーナメントの実施状況

大久保学生委員長より、以下の通り報告があった。

##### ・概況報告

資料を基に秋季トーナメントの実施状況についての説明があった。

##### ・棄権チームのパンフレット購入の取り扱いについて

今年度は昨年同様、パンフレット代は徴収しないという決断をしたことの報告があった。棄権したチームの対応を他の大会と共通であらかじめ説明する必要があると、次年度に向けて総務部が管轄で検討すると報告があった。

#### 5. 3 x 3の取り組みについて

柳生理事（3 x 3担当）より、資料を基に3 x 3プレ大会について報告があった。今大会は、西日本地区から推薦チームを選出するとの説明があった。今大会は書面で所属チームに参加案内をすることが報告された。

また、株式会社じげん主催の3 x 3大会の参加案内について、学連から案内を出して参加大学を募ることへの報告があった。大会運営についても、審判やTOの勉強として参加させていただくことについての検討していくこととなった。

次年度からの大会について、学連として事業を行うことへの意見交換を行った。

## II. 決議事項

### 1. 審判員に関わる会計規定

嶋崎審判部長より、資料を基に提案があった。今年度より、審判員の宿泊費補助について二日間従事していただく際の宿泊補助の金額を昨年度5000円から8000円に引き上げたことの報告があった。特に意見なく承認された。

### 2. 50周年事業に向けた取り組みの進め方について

西川本部長より、資料を基に50周年事業について予算等の説明があった。情報収集についてパンフレット等の資料を集めていく方針の説明があった。特に意見なく承認された。

## III. 報告事項

### 1. 男子学連との協議について（今後の西日本大会の課題など）

坂井専務理事より、次年度の西日本については、今年度同様の形で行うことの説明がされた。次々年度からの実施について、様々な角度から検討されていることが説明された。

### 2. 加盟校拡大を目指す交流会の実施について

永田理事（加盟校拡大PJ責任者）より、資料を基に3月予定の交流戦についての説明があった。

### 3. YouTube配信用カメラの更新について

広報渉外部より、資料を基に配信に使用するカメラの更新について説明があった。ファストブレイク様より、提案いただいたカメラについて財務部、広報渉外部で購入を検討することが報告された。

### 4. インカレについて

大久保学生委員長より、資料を基に今年度のインカレについて説明があった。日程について女子は12月6日開幕となっている。また、関西女子学連からの運営派遣委員について報告があった。競技部高野学生委員、財務部野村学生委員を派遣する。

### 5. 広告協賛企業からの協賛金収納状況について

畑岸広報渉外部長より、資料を基に2025年度広告協賛進捗状況についての説明があった。27社のうち4社が未入金であり、うち2社は24年度から未入金であることが報告された。前年度から未入金である2社には、再度ご連絡し、入金を促すと報告された。

### 6. 2026年度大会日程の検討状況について

村上競技部長より、次年度の公営体育館確保に向けて、予定を立てたことが報告された。下部の大学の最終日に公営の体育館を使用することも検討課題とした。

### 7. 2026年度学生委員会構成と学連員確保の課題について

高野学生委員より、資料を基に学生委員の体制について説明・紹介があった。人数不足について各大学より学連員を選出いただくよう説明があった。

### 8. その他

#### ・2025年度リーグ戦入れ替え戦による順位決定方式に関する審議結果について

村上競技部長より、資料を基に入れ替え戦による順位決定方式に関する説明と報告があった。入れ替え戦は入れ替えを決めるものであって、リーグ戦順位を定めるものではないという認識を学連全体で共通認識を持つこととすることが確認された。

古本総務部長より、次回の理事会について説明があり、丸岡副会長からご挨拶があり、閉会した。

\* 次回予定 1月中下旬の土曜日または日曜日（対面）、同日に卒業生を送る会開催  
(以上)